

Annual Report 2011

～ストリートチルドレン支援学生NPOの挑戦～

特定非営利法人 AWPS
学生スタッフチーム

Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team



理事長挨拶

私たちは1998年に社会奉仕活動を始め、2002年「世界中の子どもたちが笑って過ごせる社会を目指す」という理念のもと、特定非営利活動法人 AWPSを設立いたしました。これまで多くの方々から私どもの活動にご理解、ご支援を賜りましたことを心より感謝いたします。

AWPSの支援先であるフィリピンストリートチルドレン支援NGOカンルンガン・サ・エルマも2008年には、創立20周年を迎えました。NGO設立当初に保護された子どもたちはすでに成人しています。これに伴い、支援も「危険な路上生活からの保護と就学支援」のみならず、「成人後の職業訓練」までを含めた総合的な支援プログラムへ徐々に変化しています。

下部組織である学生スタッフチームの活動も、従来の『チャリティー自動販売機事業』のほか、教育機関でストリートチルドレンの現状を伝える『インフォーム事業』、NGOで生活する子どもたちが作った「アクセサリー」や「ポストカード」などのチャリティーグッズを販売する『チャリティープロダクト事業』など多様化しております。

学生スタッフチームは、まだまだ発展途上の組織ですが、日々試行錯誤しながら様々な活動を行い、支援先にとって必要とされる支援を継続していきたいと考えております。皆様のより一層のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

2011年6月1日
特定非営利活動法人AWPS
理事長 藤田 信康

代表挨拶

2004年に発足したAWPS学生スタッフチームも今年で8年目を迎えました。現在では、60名を超えるスタッフが日々6つのストリートチルドレン支援事業を通じて、現地NGOカンルンガン・サ・エルマの活動をサポートしています。

第9期のキーワードは『自主性と挑戦』です。AWPSのコア事業であるチャリティー自動販売機事業、ストリートチルドレンの現状を伝えるインフォーム事業、マニラの子供たちが作ったチャリティーグッズを販売するチャリティープロダクト事業においては、今まで築き上げてきた経験を生かし常に新しいことに挑戦していきます。また、一昨年から本格的に事業化したスタディーツアー事業についてもより多くの方にツアーに参加いただけるように新たな取り組みをスタートさせます。

東北大震災という未曾有の災害が起きている中、私たちにできることを今1度考え直し、1人でも多くの子どもを笑顔にすることに挑戦していきます。フィリピンのマニラでは、22万人を超えるストリートチルドレンがいると言われており、その数は残念ながら増加傾向にあります。

AWPS学生スタッフチームでは、現地NGOカンルンガン・サ・エルマと密に連携し、1人でも多くのストリートチルドレンが教育を受け、夢を叶えられるように継続的な支援活動を行って参ります。

今後とも皆様方のご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

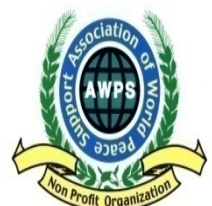
2011年5月20日
特定非営利活動法人AWPS
学生スタッフチーム代表 上島康治

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**

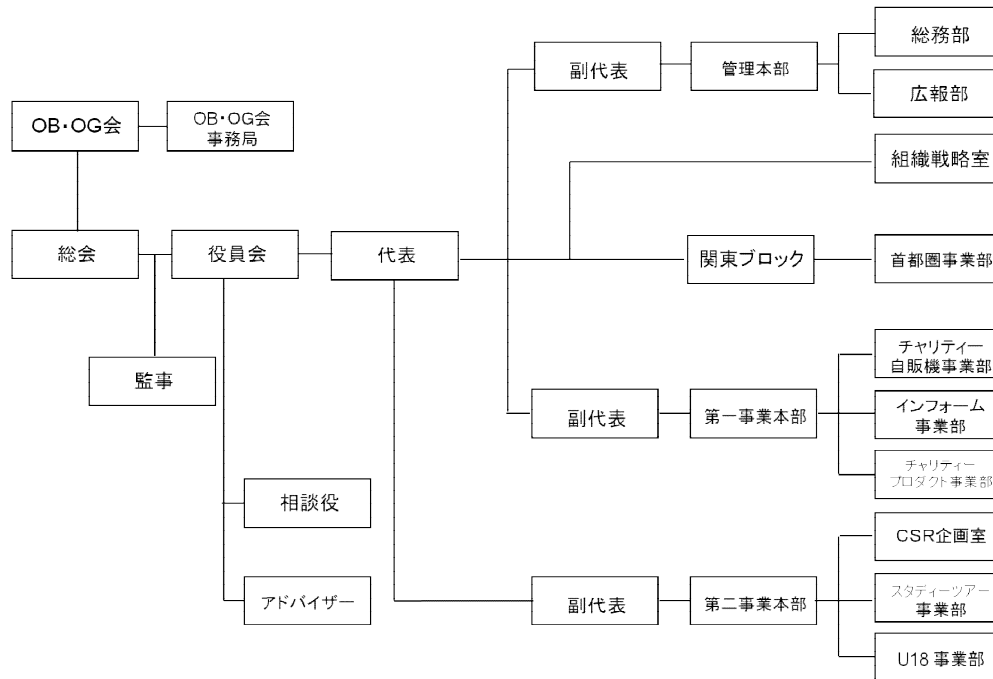


正式名称:	特定非営利活動法人AWPS 学生スタッフチーム(SST)	
設立年度:	2004年7月	
基本理念:	『世界中の子どもたちが笑って過ごせる社会を目指す』	
プロジェクトポリシー:	①日常生活を通じたボランティア活動を社会に提案する ②支援の成果を支援者が認識できるシステムを構築する ③すべてのプロジェクトにおいて企業との協働を目指す	
主な活動:	①チャリティー自動販売機普及活動 ②小学生～高校生の学生にストリートチルドレンの現状を伝える活動 ③フィリピンマニラへのスタディーツアー ④イベントの開催及びイベント等でチャリティーグッズを販売する活動 ⑤企業に対する社会貢献活動の企画・提案 ⑥その他の活動	
役員:	代表 (地区ブロック運営・組織戦略室統轄) 副代表 (第一事業本部統轄) (第二事業本部統轄) 監事 相談役	上島 康治(慶応義塾大学3年) 黒崎 由利恵(甲南大学3年) 高本 奈緒子(関西学院大学4年) 畠山 洋子(神戸大学大学院2年) 岩佐 嘉久(SST設立発起人)
執行役員:	チャリティー自動販売機事業部 チーフ チャリティープロダクト事業部 チーフ インフォーム事業部 チーフ CSR企画室 チーフ スタディーツアー事業部 チーフ U18事業部 チーフ 首都圏事業部 チーフ 広報部 チーフ 総務部 チーフ 組織戦略室 チーフ	小西 千尋(国際基督大学2年) 吉川 香鈴(関西学院大学1年) 岸 美咲帆(甲南女子大学3年) 高本 奈緒子(関西学院大学4年) 鈴木 早紀(慶應義塾大学1年) 久松 幹宜(関西学院大学1年) 清瀬 早紀子(聖心女子大学2年) 上林 萌柚(慶應義塾大学3年) 平位 莉紗(関西学院大学2年) 森岡 麻由(甲南女子大学3年)
スタッフ数:	66名 (関東ブロック 19名 高校生スタッフ16名)	関西ブロック 47名) 大学生スタッフ50名)
オフィス:	〒105-0001 東京都港区虎ノ門2丁目7-16 ビュロー虎ノ門502号 TEL 03-5157-9909 FAX 03-5157-5699	※役員・執行役員・スタッフ数は 2011年4月1日現在

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



組織図:



学生スタッフの声

私は以前からボランティアに興味がありましたが、AWPSの特徴は義務的ではなく日頃の生活から出来る身近なボランティア、長く継続出来る支援、本当に意味のある支援とは何かということを追いかけている点だと感じています。また、AWPSの活動を通じ自分の生活が恵まれていることに改めて気づき、今後の自己の成長へもつなげていきたいと考えています。



高本 奈緒子



久松 幹宜

私がAWPS学生スタッフチームに入会したのは先輩方の熱心なボランティアに取り組む姿勢を見て、自分も何か一つでもストリートチルドレン支援活動に役立てればと考えたからです。実際にフィリピンのマニラを訪問し、その現実に直面した時、AWPSの活動の意義を実感することができました。U18事業部のチーフとして、ストリートチルドレンの現状について少しでも多くの高校生に伝え、自分達に今できる事は何なのか、ということと一緒に活動を通して見つけ実践していきたいと思っています。

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



OB・OG会の設立

SSTは2004年の設立以来7年目を迎え、多くのOB・OGを輩出しています。OB・OGがSSTの活動を組織的にサポートする体制を整える目的で、第8期よりOB・OG会を設立しました。初代会長には副代表などを歴任した磯崎洋さんが、事務局長には学生スタッフチームの馬場晃(明治大学4年生)が就任しました。第8期中のOB・OG会としての活動はありませんでしたが、連絡用のメーリングリストやOB・OG名簿を作成しました。

SST役員マニラ研修を開催

第8期には、SST発足後初の試みとなるマニラでの研修を3泊4日で開催しました。今回の研修は参加者を役員に限定して開催しました。具体的な研修内容はスタディーツアーでの訪問先すべてを訪れた他、最終日にはカンルンガンとのミーティング開催。SSTの各事業を説明し、連携強化について話し合いました。また、ツアー中にはスタディーツアー事業で連携する現地の旅行会社やベストバイ様のリサイクル品輸出事業で提携する貿易会社との打ち合わせ、SSTが採用する予定の現地スタッフの面接も行いました。

日時:2010年9月18日~21日(3泊4日)



カンルンガンとの事業連携強化

SST役員マニラ研修で渡航した際のカンルンガンとのミーティングにおいて、カンルンガンのグッズを日本で販売する場合の窓口と日本から旅行会社を通じてスタディーツアーを受け入れる場合の窓口をAWPSとすることを了承していただきました。特に旅行会社が開催するスタディーツアーの窓口に関しては、カンルンガンにツアーの受け入れ要請がある前にAWPS側でツアーの内容を精査して欲しいとカンルンガン側から要請がありました。2つの事業における日本での窓口がAWPSになったことでより関係が強化されたものと認識しております。



組織戦略室の活動

SSTにとって強化が急務と言える人事・財務・広報の3部門において、第8期は人事・財務の組織強化戦略を策定しました。人事戦略は世代別分析を行い、スタッフ個人の能力向上や新規スタッフのフォローなどを考案し、財務戦略は目標と現実の差を再認識することで、今後の課題を確認しました。

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



チャリティー自動販売機事業部

アサヒカルピスビバレッジ様やサントリーフーズ様等の飲料メーカー各社のご協力のもと運営されているAWPSのチャリティー自動販売機事業。自動販売機の広告欄にはストリートチルドレンの写真とステッカーが貼られており、消費者が通常の売価で飲料を1本購入するたびに、3～10円の支援金がAWPSに寄付されます。そして、収益の中から毎年200万円以上がマニラのNGOカンルンガンに送金されています。

第8期は、6台の新規チャリティー自動販売機を設置しました。しかし、目標としていた30台には大きく及ばなかったというのが現状です。飲料を購入するという日々の何気ない行為が、ストリートチルドレン支援につながるチャリティー自動販売機。今後は『1台のチャリティー自動販売機が1人のストリートチルドレンの未来を変える』というキャッチフレーズのもと、飛躍的かつ継続的な活動を続けて参ります。

設置台数: 234台 (2011年4月30日現在)

* AWPSではチャリティー自動販売機を設置していただける方を募集しております。詳しくはホームページをご覧ください。



チャリティープロダクト事業部

チャリティープロダクト事業では、各種イベントに出展し、ストリートチルドレンの写真パネル等を掲示して、より多くの人にストリートチルドレンの現状を知っていただく活動をしています。同時に各種イベントでは、通常よりも価格が安い上、収益が全額ストリートチルドレンに寄付されるチャリティードリンクの販売や支援先団体カンルンガンで生活する子どもたちの手作りのカンルンガンチャリティーグッズ(ミサンガ、アクセサリ、ポストカードetc...)や、カンルンガンが運営するファームで収穫された黒コショウとコーヒー豆を販売しております。

また、第8期より兵庫県西宮市の関西学院大学の学生が運営するフェアトレードショップ「COCOCHI」でカンルンガングッズを販売していただけることになりました。念願のカンルンガングッズ取り扱い店舗が開拓できたことは大きな成果と言えます。

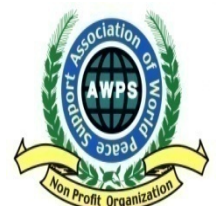
教育機関での学園祭等で、チャリティードリンクやチャリティーグッズを販売していただく活動も行っており、関西ブロック・関東ブロックでお付き合いのある多くの教育機関でご協力をいただいております。

売上金額 ¥361,766 (第8期実績)

プロモーション出展: 5回 [関西ブロック4回・関東ブロック1回]



**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**

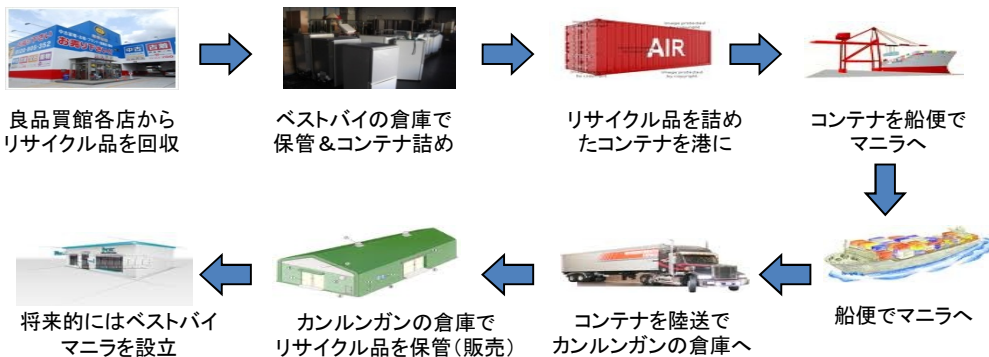


CSR企画室

CSR企画室では、現在、株式会社ベストバイ様と連携したCSR事業を進めています。ベストバイ様は関西を中心にリサイクルショップ「良品買館」を展開する総合リサイクル企業です。まだ使えるのに日本では再販できない家具や家電をコンテナに詰めてフィリピンへ輸出し、現地で販売した収益のすべてをカンルンガンに寄付するというのがこのCSR事業の内容です。2008年に事業を提案し、準備を進めてきた結果、待望の初コンテナが2011年2月にマニラ港に到着。2月18日「KSEM&BEST BUYセカンドハンドショップ」がオープンしました。

そして、ショップではカンルンガンで育った青年5名をクルーとして雇用することができており、事業拡大と共にその数を増やしていく予定です。

今後は、毎月1便コンテナを輸出し、事業の安定化を図って参ります。



スタディツアー事業部

スタディツアー事業部では2006年よりAWPS主催で開催しているスタディツアー2010夏を開催しました。今回のスタディツアーから日程を3泊4日から4泊5日に変更。ツアーの行程に余裕を持たせることで参加者の体力的な負担を軽減させることが可能となりました。(参加者は8名)

また、2011年3月10日～15日(5泊6日)の日程で、旅行会社と共同でのスタディツアーを初開催。今回は株式会社アーク・スリー・インターナショナル様と共同でツアーを企画しました。募集期間で3名から申込みがあり、最少催行人員の10名には達しませんでした。AWPS学生スタッフ向けツアーと同時開催という形で催行しました。

第8期下半期には、以前より構想のあったオーダーメイド型スタディツアーの企画をスタート。第9期中には参加者を募集できるように準備を進めます。

スタディツアー事業部では、1人でも多くの方にカンルンガンを訪ねいただくことで「日本のカンルンガンのファン」を増やすことができると考えており、今後とも様々なスタディツアーを企画して参ります。



**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



インフォーム事業部

各教育機関にAWPSの学生スタッフが訪問し、マニラのストリートチルドレンの現状を伝えるインフォーム事業。実際に現地を訪問した学生スタッフがストリートチルドレンやカンルンガンで働くスタッフと出会い、感じたことを学生の目線から自らの言葉でお伝えしています。

第8期はインフォーム実施校の獲得から実施までのシステムを構築することで、よりスムーズな開催が可能となりました。また、他部署との連携として、U18事業部の「世界子どもの日募金2010協力校」や「カンルンガンチャリティーコンサート2011出演校」へのインフォームも行い、各イベントに参加する生徒の皆さんがよりストリートチルドレンの状況を理解した上で、支援活動に取り組んでもらうことができました。

また、第8期からの新たな試みとして、初めて小学生を対象にインフォームを開催したことや、単位認定制度を活用した大学生をインフォーム事業部で受け入れ、一緒にインフォームを行ったことが挙げられます。

開催実績：12回

主な開催校：立命館守山高等学校、甲南小学校、相愛高等学校 など



U18事業部

高校生スタッフ全員が所属するU18事業部では、世界子どもの日募金とカンルンガンチャリティーコンサートを開催しています。

〔世界こどもの日募金2010〕

11月20日は「世界こどもの日」です。世界こどもの日は、国際連合が「子どもたちの世界的な友愛と相互理解を促し、子どもたちの福祉を増進させること」を目的とし制定された国際Dayのひとつです。過去にインフォーム事業を実施した学校など合計8校の小学校、中学校、高等学校、大学にご協力いただき、登下校時に各校生徒会や有志の皆さんが募金箱を持ち、呼びかける形で行われました。また、関西ブロックでは、JR芦屋駅と阪急西宮北口駅でSSTスタッフが街頭募金を実施し、ストリートチルドレンへの支援を呼びかけました。募金額は目標であった15万円を上回り、大きな成果を上げることができました。

【ご協力いただきました学校】

甲南小学校、甲南中学校・高等学校、甲南大学、立館守山中学校・高等学校
千代田女学園高等学校、大阪青凌中学校・高等学校、聖母学院中学校・高等学校、雲雀丘学園中学校・高等学校



**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



U18事業部

〔カンルンガンチャリティーコンサート2011〕

昨年に引き続き、2011年3月26日(土)に神戸市東灘区の甲南大学甲友会館の大ホールにおいてカンルンガンチャリティーコンサート2011を開催いたしました。

3年目となる今回のテーマは「ありがとうを伝えたい」。スタッフがマニラのストリートで出会った多くの子どもたちは、自分の境遇を恨むことなく、多くの人に感謝しながら生きています。そんな彼らの状況をコンサートを通じて1人でも多くの方に知っていただき、来場者の方々に「ありがとうを伝える大切さ」を改めて認識していただけるような演出を企画しました。

コンサートの開催にあたり、ヒカリグループ様をはじめとする10社以上の企業にご協賛いただきました。また、当日は数々の不手際もあり、出演者の方々にご迷惑をおかけすることもございましたが、150名以上のお客様にご来場いただき無事にコンサートを開催することができました。

事業名称: カンルンガンチャリティーコンサート2011 - ありがとうを伝えたい -
Present by HIKARI GROUP

開催日時: 2011年3月26日(土)

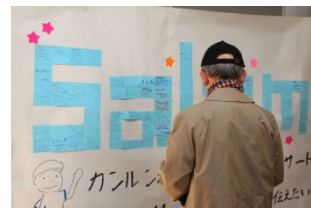
会場: 甲南学園 甲友会館 大ホール

主催: 特定非営利活動法人AWPS学生スタッフチーム

後援: 兵庫県、神戸市

協力: 学校法人 甲南学園(甲南大学、甲南高校、甲南中学校)

出演: 神戸大学附属中等教育学校 コーラス部
甲南中学校 ブラスアンサンブル部
大阪青凌中学校・高等学校 吹奏楽部
立命館守山高校 吹奏楽部
相愛高等学校 音楽科1年生
大教大附属高等学校天王寺 合唱部
甲南小学校 有志による作文朗読



**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**



2011年4月1日付で組織改正

2011年4月1日より更なる組織の飛躍を目指して、組織改正を行いました。

まず、総代表職を廃止し、役員は代表・副代表・監事・相談役としました。そして、活動が休止状態にある九州ブロックを閉鎖し、九州ブロック所属のスタッフを関西ブロックの所属に変更しました。

さらに、インフォーム事業部を第二事業本部から第一事業本部に、CSR企画室を第一事業本部から第二事業本部に変更いたしました。

東日本大震災への支援について

東日本大震災の影響で、東京電力管内で電力不足が確実となる中、東京都の石原知事が出した“自動販売機不要論”をきっかけに自動販売機の節電をめぐる議論が起きています。

そこで、今までと同様にフィリピンのストリートチルドレンの為にのみ寄付金を送るのではなく、SSTが設置した一部の自動販売機の収益の半分を他団体を通じて東日本大震災の義援金に充てることになりました。このチャリティー自動販売機で飲料を購入すると、フィリピンのストリートチルドレン支援だけでなく、震災の義援金にも募金したことになります。チャリティー自動販売機事業部ではこの先3年間を目途に東日本大震災の支援にもなるチャリティー自動販売機を50台程度まで増やせられるようチャリティー自動販売機の新規設置に取り組んでいきたいと思えます。

SST第9期事業計画

第9期は、全事業において「事業の安定」を目指します。第7期～第8期にかけて4つの新事業を開始して参りました。今期中に何としてもすべての事業を安定させることが、第10期以降、新たなステージへ突入する上で肝要であると考えます。特に、AWPS学生スタッフチーム発足当時の事業である、チャリティー自動販売機事業、インフォーム事業、チャリティープロダクト事業の3事業においては、AWPS学生スタッフチームのコア事業であると、スタッフ全員が改めて認識できるようブラッシュアップを行います。各事業の目標は以下の通りです。

第一事業本部

チャリティー自動販売機事業部	新規設置15台。自動販売機掲示物の見直し。
インフォーム事業部	20校で開催。事業部内スタッフの育成。
チャリティープロダクト事業部	チャリティーグッズの開発。グッズ取扱店舗開拓。

第二事業本部

CSR企画室	毎月1便のコンテナ輸出。輸出コスト見直し。
スタディーツアー事業部	各種ツアーの参加者を合わせて100名以上に。
U18事業部	現状の2つのイベントに加え、新事業のスタート。

**Non Profit Organization
Association of World Peace Support
Student Staff Team**

